

東海 円高進行などで需給双方とも様子見

(名古屋) 東海市場の鉄スクラップ市況は引き続き様子見横ばいの推移だ。10日の関東鉄源テnderのH2落札価格が国内相場を大きく上回ったものの、その後の円高進行などを受けて、需給双方とも慎重な姿勢を維持。当面の内外の動向を様子見する姿勢だ。

東海市場の12日時点のH2炉前実勢価格は1トあたり4万3000~4000円中心だ。関東鉄源テnderのH2落札価格は4万8083円。現在の輸出商談価格は前週末時点でFOB4万6000~6500円だ。輸出価格は国内相場を上

回っており、東海市場をはじめ国内価格には割安感が台頭している。しかし、為替相場が短期間に大きく動く状況となっており、先行きが読みにくい展開のため、需給双方とも慎重な価格対応とならざるを得なくなっているのが現状だ。

記事訂正 = 本紙12日付東海面の記事中、中部鉄源協議会のテnderの日程が「12日」とあるのは誤りで、正しくは「13日」です。お詫びして訂正します。

可鍛材相場は様子見横ばい

(名古屋) 東海市場の可鍛材相場は12月第4週に500円がた値下がりした後は横ばいの推移を続けている。業者ヤード持ち込みの上物が1トあたり4万2500~3500円、並物が4万500円~1500円中心だ。

可鍛材の出回りは引き続き低調に推移している。溶断加工工場からの発生は年々減少しており、回復の兆

しが見えていない。

一方、鋳・可鍛メーカーの操業率も芳しくない。自動車関連工場の稼働率は堅調に推移しているが、メーカーや車種によって格差が残る。工作機械関連は本格的な回復に至っていない。需給バランスは、需要は低い、発生も同様に低調なため、相場は安定している。

伸和金属が設立50周年 地域から愛される回収業者を目指す

(名古屋) 愛知県西尾市を拠点に鉄スクラップなどの引き取りを行う伸和金属(本山浩二社長)は、13日に設立50周年を迎えた。

同社は、アルミニウム精錬工場に務めていた本山社長の父が1976年2月に設立した。回収業に特化した同社は、「来た時よりも美しく」をモットーに、回収時顧客の現場を丁寧に清掃している。誠実な姿勢が信頼を獲得し、現在の取引先はすべて紹介によりつながりが生まれたという。

2012年に本山浩二氏が2代目社長に就任した。就任当初は組織として経営を行うことを重視し、従業員を増やすために『働きやすい職場作り』に着手。安心して働ける職場を目指し、業務を行う上での安全第一の

仕組みを整え、福利厚生を充実させた。結果として、現在の従業員の多くは知人の紹介等で入社した。

また、車両への投資も積極的に行った。4ト平ボディ以外にも、ダンプ車やクレーン車、13ト大型車を導入し、回収効率を向上させた。



本山浩二社長

設立50周年を迎え、本山社長は「当社に関わった皆さまとのお縁のおかげで、50周年を迎えることができた。地域で一番の回収業者として、先代から積み上げてきた会社の信頼と実績をこれからも守っていく。今後も当社に任せれば問題ないと思ってもらえるよう精進する」と話した。

総合メタルリサイクル企業

本社第二工場でお困りの際はぜひ一度ご連絡ください。

ギロチンダストの受入れ開始!

製鋼原料全般
ギロチンシャー加工

萬 日鉄萬金属株式会社

代表取締役社長 木村啓孝

本社第二工場 滋賀県愛知郡愛荘町長野1414-1
TEL0749-49-4335 FAX0749-49-4330

**超大型ギロチン(3,000ト)稼働
大型母材積極買入**

タンクローリー・ダンプボディー・ミキサー車
鉄筋ダンゴ・甲山プレス・大物建屋解体

昭栄金属株式会社

一宮市丹陽町五日市場天上77
TEL 0586(76)3211番代